

# 12課

## 互いに生きる

3月21日

安息日午後

3月14日

### 暗証聖句

いつも、塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりびとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。(コロサイ 4:6、口語訳)

いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。(コロサイ 4:6、新共同訳)

### 今週の聖句

コロサイ 3:18~4:6、エフェソ(エペソ) 5:22~25、33、箴言 22:6、15、  
Iバトロ(パテロ) 2:16、Iテサロニケ 5:17

### 今週のテーマ

人々が互いに近くに住み、働くとき、さまざまな課題に直面します。意見の違いが緊張を生み、口論になる場合もあります。関係が密接であればあるほど、その関係の中にある全員にとって、仲良くすることがより重要になります。

最も親密な関係は、言うまでもなく、家族の中にあります。時として家庭は、「家族会社」と呼ばれることがあります。それは、家庭がいかに機能するかを説明する興味深い呼び方です。ビジネスを営むことと家庭を営むことの間には、確かに類似点があります。価値観、目標、目的について、全般的な合意が必要です。物事を円滑に進めるためには、全員が互いに仲良くし、自分の役割をきちんと果たす必要があります。同じ原則が、本質的に大きな家族である教会にも当てはまります。

「今週の聖句」の中でパウロは、クリスチヤンの家族が最もよく機能するための重要な原則をいくつか提供しています。クリスチヤンの家庭は、聖書の原則に従って営まれるべきものですから、必然的に一般的なローマの家庭とは多少異なる形で機能することになります。パウロはまた、家庭の内外を問わず、さまざまな社会的関係に役立つ、ほかの貴重な原則も提示しています。

新約聖書には、クリスチャンの家庭のためのいくつかの教えが記されています(エフェ[エペ]5:21~6:9、コロ3:18~4:1、テト2:1~10、Iペト[ペテ]2:18~3:7参照)。注目すべきことに、これらの「家庭内規範」と呼ばれるものは、まったく階層的なものではなく、より相互的で、互いに関係を高め合うための要素が含まれています。

問1 コロサイ3:18、19を読んでください。どのようなバランスが見られるでしょうか。エフェソ(エペソ)5:22~25、33でパウロは、さらにどのような勧告を与えていますか。

男たちの中には、「妻たちよ、……夫に仕えなさい」[口語訳「妻たる者よ、夫に仕えなさい」](コロ3:18)という言葉を用いて、そこで止まってしまう人もいますが、「主を信じる者にふさわしく」[口語訳「主にある者にふさわしいこと」]という重要な必要条件をパウロが加えていることに注目してください。新約聖書のどこにも、女はすべての男に従うべきであるとか、妻は従属的あるいは服従的であるべきだとか、妻は夫のあらゆる気まぐれや欲求に絶対的に従うべきだとは教えていません。パウロが言いたいのは、妻の忠誠はまず主に対して、次に夫に対して尽くすべきだということです。妻の個性が夫に飲み込まれてはなりませんし、夫が妻の良心の代わりを務めることもできません。

教会のためにご自身をささげられたキリストの愛は、夫が妻をいかに愛すべきかを示しています(エフェ[エペ]5:25)。夫は、どのような犠牲を払ってでも妻に誠実であり、(通常、両者の利益は一致すべきですが、)妻の利益を最優先に決定を下すのです。このような愛があれば、妻は、夫を敬いなさい[口語訳「妻もまた夫を敬いなさい」](同5:33)という神の命令に従いやすくなります。

健全なクリスチャンの結婚は、相互性、つまり互いに相談し合い、一緒に物事をよく考え、夫婦として決定を下すことを特徴としています。家族全体に重大な影響を与える決定を下すときには、子どもたちを話し合いに加えることが適切かもしれませんが、両親は決して子どもたちの前で口論してはなりません。そのような過程を経ても夫婦が合意に達することができない場合、聖書的な平和への道は、神の言葉に反しない限り、妻が夫の判断に従うことです。同様に、全員ではないにしても多くの夫は、妻の言うことに耳を傾け、妻の助言を受け入れてよかったと思った時のことを思い出すことができるでしょう。夫と妻がチームとして協力すればするほど、結婚生活はより幸せになります。

これらの素晴らしい原則をゆがめることを、どうすれば避けられるでしょうか。

**【参考】英語テキストにある文**

**How can we avoid doing what has, unfortunately, been done all through history: taking the beautiful principles expressed in these texts and turning them into something evil?**

残念ながら歴史を通じて繰り返されてきたこと、すなわち、これらの聖句に記されたすばらしい原則を、悪しきものへゆがめてしまうという行為を、私たちはいかに避けることができるでしょうか。

82

**エフェ 5:21～6:9 (新共同訳)**

5:21 キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい。

5:22 妻たちよ、主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい。

5:23 キリストが教会の頭であり、自らその体の救い主であるように、夫は妻の頭だからです。

5:24 また、教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。

5:25 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。

5:26 キリストがそうなさったのは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし、

5:27 しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を御自分の前に立たせるためでした。

5:28 そのように夫も、自分の体のように妻を愛さなくてはなりません。妻を愛する人は、自分自身を愛しているのです。

5:29 わが身を憎んだ者は一人もおらず、かえって、キリストが教会になさったように、わが身を養い、いたわるものです。

5:30 わたしたちは、キリストの体の一部なのです。

5:31 「それゆえ、人は父と母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。」

5:32 この神秘は偉大です。わたしは、キリストと教会について述べているのです。

**エペ 5:21～6:9 (口語訳)**

5:21 キリストに対する恐れの心をもって、互に仕え合うべきである。

5:22 妻たる者よ。主に仕えるように自分の夫に仕えなさい。

5:23 キリストが教会のかしらであって、自らは、からだなる教会の救主であられるように、夫は妻のかしらである。

5:24 そして教会がキリストに仕えるように、妻もすべてのことにおいて、夫に仕えるべきである。

5:25 夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい。

5:26 キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

5:27 また、しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、清くて傷のない栄光の姿の教会を、ご自分に迎えるためである。

5:28 それと同じく、夫も自分の妻を、自分のからだのように愛さねばならない。自分の妻を愛する者は、自分自身を愛するのである。

5:29 自分自身を憎んだ者は、いまだかつて、ひとりもない。かえって、キリストが教会になさったようにして、おのれを育て養うのが常である。

5:30 わたしたちは、キリストのからだの肢体なのである。

5:31 「それゆえに、人は父母を離れてその妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである」。

5:32 この奥義は大きい。それは、キリストと教会とをさしている。

5:33 いずれにせよ、あなたがたも、それぞれ、妻を自分のように愛しなさい。妻は夫を敬いなさい。

6:1 子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。

6:2 「父と母を敬いなさい。」これは約束を伴う最初の掟です。

6:3 「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる」という約束です。

6:4 父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。

6:5 奴隷たち、キリストに従うように、恐れおののき、真心を込めて、肉による主人に従いなさい。

6:6 人にへつらおうとして、うわべだけで仕えるのではなく、キリストの奴隷として、心から神の御旨を行い、

6:7 人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。

6:8 あなたがたも知っているとおりに、奴隷であっても自由な身分の者であっても、善いことを行えば、だれでも主から報いを受けるのです。

6:9 人たち、同じように奴隷を扱いなさい。彼らを脅すのはやめなさい。あなたがたも知っているとおりに、彼らにもあなたがたにも同じ主人が天におられ、人を分け隔てなさないのです。

#### コロ 3:18~4:1 (新共同訳)

3:18 妻たちよ、主を信じる者にふさわしく、夫に仕えなさい。

3:19 夫たちよ、妻を愛しなさい。つらく当たってはならない。

3:20 子供たち、どんなことについても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることです。

3:21 父親たち、子供をいらいださせてはならない。いじけるといけないからです。

3:22 奴隷たち、どんなことについても肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとしてうわべだけで仕えず、主を畏れつつ、真心を込めて従いなさい。

5:33 いずれにしても、あなたがたは、それぞれ、自分の妻を自分自身のように愛しなさい。妻もまた夫を敬いなさい。

6:1 子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。

6:2 「あなたの父と母とを敬え。」これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、

6:3 「そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう。」

6:4 父たる者よ。子供をおこらせしないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。

6:5 僕たる者よ。キリストに従うように、恐れおののきつつ、真心をこめて、肉による主人に従いなさい。

6:6 人にへつらおうとして目先だけの勤めをするのではなく、キリストの僕として心から神の御旨を行い、

6:7 人ではなく主に仕えるように、快く仕えなさい。

6:8 あなたがたが知っているとおりに、だれでも良いことを行えば、僕であれ、自由人であれ、それに相当する報いを、それぞれ主から受けるであろう。

6:9 主人たる者よ。僕たちに対して、同様にしなさい。おどすことを、してはならない。あなたがたが知っているとおりに、彼らとあなたがたとの主は天にいますのであり、かつ人をかたより見ることをなさらないのである。

#### コロ 3:18~4:1 (口語訳)

3:18 妻たる者よ、夫に仕えなさい。それが、主にある者にふさわしいことである。

3:19 夫たる者よ、妻を愛しなさい。つらくあたってはいけない。

3:20 子たる者よ。何事についても両親に従いなさい。これが主に喜ばれることである。

3:21 父たる者よ、子供をいらいださせてはいけない。心がいじけるかも知れないから。

3:22 僕たる者よ、何事についても、肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとして、目先だけの勤めをするのではなく、真心をこめて主を恐れつつ、従いな

3:23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

3:24 あなたがたは、御国を受け継ぐという報いを主から受けることを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

3:25 不義を行う者は、その不義の報いを受けるでしょう。そこには分け隔てはありません。

4:1 主人たち、奴隷を正しく、公平に扱いなさい。知ってのとおり、あなたがたにも主人が天におられるのです。

**テト 2:1~10 (新共同訳)**

2:1 しかし、あなたは、健全な教えに適うことを語りなさい。

2:2 年老いた男には、節制し、品位を保ち、分別があり、信仰と愛と忍耐の点で健全であるように勧めなさい。

2:3 同じように、年老いた女には、聖なる務めを果たす者にふさわしくふるまい、中傷せず、大酒のとりこにならず、善いことを教える者となるように勧めなさい。

2:4 そうすれば、彼女たちは若い女を諭して、夫を愛し、子供を愛し、

2:5 分別があり、貞潔で、家事にいそしみ、善良で、夫に従うようにさせることができます。これは、神の言葉が汚されないためです。

2:6-7 同じように、万事につけ若い男には、思慮深くふるまうように勧めなさい。あなた自身、良い行いの模範となりなさい。教えるときには、清廉で品位を保ち、

2:8 非難の余地のない健全な言葉を語りなさい。そうすれば、敵対者は、わたしたちについて何の悪口も言うことができず、恥じ入るでしょう。

2:9 奴隷には、あらゆる点で自分の主人に服従して、喜ばれるようにし、反抗したり、

2:10 盗んだりせず、常に忠実で善良であることを示すように勧めなさい。そうすれば、わたしたちの救い主である神の教えを、あらゆる点で輝かすことになりま

さい。

3:23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から働きなさい。

3:24 あなたがたが知っているとおりの、あなたがたは御国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう。あなたがたは、主キリストに仕えているのである。

3:25 不正を行う者は、自分の行った不正に対して報いを受けるであろう。それには差別扱いはない。

4:1 主人たる者よ、僕を正しく公平に扱いなさい。あなたがたにも主が天にいますことが、わかっているのだから。

**テト 2:1~10 (口語訳)**

2:1 しかし、あなたは、健全な教にかなうことを語りなさい。

2:2 老人たちには自らを制し、謹厳で、慎み深くし、また、信仰と愛と忍耐とにおいて健全であるように勧め、

2:3 年老いた女たちにも、同じように、たち居ふるまいをうやうやしくし、人をそしたり大酒の奴隷になったりせず、良いことを教える者となるように、勧めなさい。

2:4 そうすれば、彼女たちは、若い女たちに、夫を愛し、子供を愛し、

2:5 慎み深く、純潔で、家事に努め、善良で、自分の夫に従順であるように教えることになり、したがって、神の言がそしりを受けないようになるであろう。

2:6 若い男にも、同じく、万事につけ慎み深くあるように、勧めなさい。

2:7 あなた自身を良いわざの模範として示し、人を教える場合には、清廉と謹厳とをもってし、

2:8 非難のない健全な言葉を用いなさい。そうすれば、反対者も、わたしたちについてなんの悪口も言えなくなり、自ら恥じるであろう。

2:9 奴隷には、万事につけその主人に服従して、喜ばれるようになり、反抗をせず、

2:10 盗みをせず、どこまでも心をこめた真実を示すようにと、勧めなさい。そうすれば、彼らは万事につけ、わたしたちの救主なる神の教を飾ることになるろう。

I ペト 2:18~3:7 (新共同訳)

2:18 召し使いたち、心からおそれ敬って主人に従いなさい。善良で寛大な主人にだけでなく、無慈悲な主人にもそうしなさい。

2:19 不当な苦しみを受けることになっても、神がそうお望みだとわきまえて苦痛を耐えるなら、それは御心に適うことなのです。

2:20 罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。

2:21 あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。

2:22 「この方は、罪を犯したことがなく、その口には偽りがなかった。」

2:23 ののしられてもものしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。

2:24 そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。

2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻って来たのです。

3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。夫が御言葉を信じない人であっても、妻の無言の行いによって信仰に導かれるようになるためです。

3:2 神を畏れるあなたがたの純真な生活を見るからです。

3:3 あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。

3:4 むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような

I ペテ 2:18~3:7 (口語訳)

2:18 僕たる者よ。心からのおそれをもって、主人に仕えなさい。善良で寛容な主人だけにでなく、気むずかしい主人にも、そうしなさい。

2:19 もしだれかが、不当な苦しみを受けても、神を仰いでその苦痛を耐え忍ぶなら、それはよみせられることである。

2:20 悪いことをして打ちたたかれ、それを忍んだとしても、なんの手柄になるのか。しかし善を行って苦しみを受け、しかもそれを耐え忍んでいるとすれば、これこそ神によみせられることである。

2:21 あなたがたは、実に、そうするようにと召されたのである。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、御足の跡を踏み従うようにと、模範を残されたのである。

2:22 キリストは罪を犯さず、その口には偽りがなかった。

2:23 ののしられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことをせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。

2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

2:25 あなたがたは、羊のようにさまよっていたが、今は、たましいの牧者であり監督であるかたのもとに、たち帰ったのである。

3:1 同じように、妻たる者よ。夫に仕えなさい。そうすれば、たとい御言に従わない夫であっても、

3:2 あなたがたのうやうやしく清い行いを見て、その妻の無言の行いによって、救に入れられるようになるであろう。

3:3 あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、

3:4 かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみ

装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです。

3:5 その昔、神に望みを託した聖なる婦人たちも、このように装って自分の夫に従いました。

3:6 たとえばサラは、アブラハムを主人と呼んで、彼に服従しました。あなたがたも、善を行い、また何事も恐れないなら、サラの娘となるのです。

3:7 同じように、夫たちよ、妻を自分よりも弱いものだとわきまえて生活を共にし、命の恵みを共に受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りが妨げられることはありません。

まえに、きわめて尊いものである。

3:5 むかし、神を仰ぎ望んでいた聖なる女たちも、このように身を飾って、その夫に仕えたのである。

3:6 たとえば、サラはアブラハムに仕えて、彼を主と呼んだ。あなたがたも、何事にもおびえ臆することなく善を行えば、サラの娘たちとなるのである。

3:7 夫たる者よ。あなたがたも同じように、女は自分よりも弱い器であることを認めて、知識に従って妻と共に住み、いのちの恵みを共どもに受け継ぐ者として、尊びなさい。それは、あなたがたの祈りが妨げられないためである。

## 月曜日 3月16日 親と子ども

子どもたちは、「家族会社」の一員として重要な役割を担っています。彼らは、家族の一員として、また天国の住民として、愛され、大切にされていることを知る必要があります。家族礼拝はとても重要で、簡単であっても定期的に、朝と夕、行うべきです。幼いうちから、子どもたちは掃除やそのほかの責務を手伝い始めることができます。最も重要なのは、パウロの命令に従うことです。「どんなことについても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることです」〔口語訳「何事についても両親に従いなさい。これが主に喜ばれることである」〕(コロ 3:20)。

問2 次の聖句を読んでください。子育てのためのどのような原則が示されていますか。

- (1) 箴言 22:6、15
- (2) マタイ 19:14
- (3) 申命記 6:6、7
- (4) 箴言 1:8、9

戒めと模範によって、主のために正しく訓練された子どもたちは、家族、教会、そしてそれ以上の社会に祝福をもたらします。また、両親に対するパウロの教えは、夫婦に対する教えと同様、バランスが取れていて互惠的です。「父親たち、子供をいらだたせてはならない。いじけるといけないからです」〔口語訳「父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから」〕(コロ 3:21)。両親、特に父親が子どもたちといかに接し、いかにしつけるかは、子どもたちの霊的成長に

深く影響します。

両親が共に教会に行くと、片方の親だけが行く場合よりも、子どもたちが教会に通い続ける割合が高くなることも、研究によって示されています。さらに驚くべきことに、母親よりも父親が一貫して教会に出席すると、大人になっても教会に残る子どもたちの数が多くなります。したがって、子どもたちの霊的形成における父親の役割は、過小評価できません。父親が自分の役割を真剣に受け止めることは、なんと重要なことでしょう。

しかし(控えめに言っても)、すべての父親が子どもたちにとって模範的な手本であったわけではありません。特に、地上の父親が大きな書を与えてきた場合、その傷ついた心に必要ないやしをもたらすうえで、神を天の父として知ることは、いかに役立つでしょうか。

83

**コロ 3:20、21 (新共同訳)**

3:20 子供たち、どんなことについても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることです。

3:21 父親たち、子供をいらだたせてはならない。いじけるといけないからです。

**箴 22:6 (新共同訳)**

22:6 若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう。

**箴 22:15 (新共同訳)**

22:15 若者の心には無知がつきもの。これを遠ざけるのは諭しの鞭。

**マタ 19:14 (新共同訳)**

19:14 しかし、イエスは言われた。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」

**申 6:6、7 (新共同訳)**

6:6 今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、

6:7 子供たちに繰り返し教え、家に座っているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。

**箴 1:8、9 (新共同訳)**

1:8 わが子よ、父の諭しに聞き従え。母の教えをおろそかにするな。

**コロ 3:20、21 (口語訳)**

3:20 たる者よ。何事についても両親に従いなさい。これが主に喜ばれることである。

3:21 父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから。

**箴 22:6 (口語訳)**

22:6 子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。

**箴 22:15 (口語訳)**

22:15 愚かなことが子供の心の中につながれている、懲らしめのむちは、これを遠く追いだす。

**マタ 19:14 (口語訳)**

19:14 するとイエスは言われた、「幼な子らをそのままにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である。」

**申 6:6、7 (口語訳)**

6:6 きょう、わたしがあなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、

6:7 努めてこれをあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならない。

**箴 1:8、9 (口語訳)**

1:8 わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教を捨ててはならない。

1:9 それらは頭に戴く優雅な冠/首にかける飾りとなる。

1:9 それらは、あなたの頭の麗しい冠となり、あなたの首の飾りとなるからである。

火曜日 3月17日 仕事上の関係

問3 コロサイ 3:22~25 を読んでください。奴隷(口語訳:僕たる者)に対して、どのような教えが与えられていますか。仕事上の関係全般に関して、ここにはどのような原則がありますか。

現代人は、聖書の教えの一部を過去のものにするために、あるいは聖書そのものを信用できないものにするために、奴隷制を持ち出すことがあります。しかし皮肉なことに、その主張は、旧約聖書のイスラエルや新約聖書の教会における歴史的背景をほとんど考慮していません。人間は神にかたどって造られた存在であり、神のあらゆる知的存在と同様、自由であるように設計されています。モーセの律法は、イスラエル人が永久に奴隷になることを禁じ(申 15:12)、金銭的負債を返済するための最長の奉仕期間を6年と規定しました(出 21:2~6、レビ 25:39~43)。聖書における奴隷制度は、現代の感覚からすると不快なものですが、西洋世界で目にされてきたような忌まわしい慣習である奴隷制度、すなわち人類に対する社会悪であり恐ろしい犯罪とは、一般的に異なるものでした。

新約聖書の時代、教会は、奴隷の所有を規定したローマ法の枠組みの中で活動しなければなりません。「しかし、近代の奴隷制度とは異なり、ローマ法は奴隷にかなりの権利と機会を与えており、その慣習を覆そうとすることは、福音の進展を脅かす可能性があった」(クリントン・ワーレン「文化、解釈学、聖書——普遍的なものを見極める」、フランク・M・ハーゼル編『聖書解釈学——アドベンチストのアプローチ』166ページ、英文)。

【参考】—Clinton Wahlen, “Culture, Hermeneutics, and Scripture: Discerning What Is Universal,” in Frank M. Hasel, ed., *Biblical Hermeneutics: An Adventist Approach* (Silver Spring, MD: Biblical Research Institute/Review and Herald Academic, 2020), p. 166.

“But, unlike modern forms of slavery, Roman law afforded slaves considerable rights and opportunities, and attempting to overturn the practice could have threatened the advancement of the gospel.”

実のところ教会内では、ローマ帝国内全般とは異なり、奴隷の第一の義務は主に対するものでした。そして、奴隷の主人たちは、「あなたがたにも主が天にいますことが、わかっているのだから」(コロ 4:1、口語訳)、彼らを公平に扱うようにと教えられていました。さらにパウロは、オネシモをもはや奴隷としてではなく、兄弟として扱うよう、フィレモン(ピレモン)に命じています(フィル(ピレ)16)。実際、旧新両約聖

書において、信者は神の奴隷(僕)と呼ばれています(例えば、詩編 34:23 [口語訳 詩篇 34:22]、ルカ 17:10、I ペトロ[ペテロ]2:16 参照)。

たとえ、聖書のいくつかの箇所に記載された文化的状況が気に入らないとしても、私たちは聖書の言葉そのものの権威を受け入れなければなりません。そうでなければ、私たちは聖書よりも自分たち自身や自分たちの文化を優先させることになってしまいます。より良い選択肢は、ある主題について聖書が何を語っているかという結論を出す前に、その主題について聖書が述べていることをすべて調べることです。

### 【参考】英語テキストにある文

Consider how this passage could apply to your relationships at work. How might its principles be helpful to you as a boss or an employee?

この内容がいかに職場の人間関係に適用できるか考えてみてください。上司として、あるいは、従業員としてのあなたにとって、その原則は、どのような助けになるでしょうか。

84

#### コロ 3:22～25、4:1 (新共同訳)

3:22 奴隷たち、どんなことについても肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとしてうわべだけで仕えず、主を畏れつつ、真心を込めて従いなさい。

3:23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

3:24 あなたがたは、御国を受け継ぐという報いを主から受けることを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

3:25 不義を行う者は、その不義の報いを受けるでしょう。そこには分け隔てはありません。

4:1 主人たち、奴隷を正しく、公平に扱いなさい。知つてのとおり、あなたがたにも主人が天におられるのです。

#### 申 15:12 (新共同訳)

15:12 同胞のヘブライ人の男あるいは女が、あなたのとこに売られて来て、六年間奴隷として仕えたならば、七年目には自由の身としてあなたのもとを去らせねばならない。

#### 出 21:2～6 (新共同訳)

21:2 あなたがヘブライ人である奴隷を買うならば、彼は六年間奴隷として働か

#### コロ 3:22～25、4:1 (口語訳)

3:22 僕たる者よ、何事についても、肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとして、目先だけの勤めをするのではなく、真心をこめて主を恐れつつ、従いなさい。

3:23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から働きなさい。

3:24 あなたがたが知っているとおり、あなたがたは御国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう。あなたがたは、主キリストに仕えているのである。

3:25 不正を行う者は、自分の行った不正に対して報いを受けるであろう。それには差別扱いはない。

4:1 主人たる者よ、僕を正しく公平に扱いなさい。あなたがたにも主が天にいますことが、わかっているのだから。

#### 申 15:12 (口語訳)

15:12 もしあなたの兄弟であるヘブルの男、またはヘブルの女が、あなたのとこに売られてきて、六年仕えたならば、第七年には彼に自由を与えて去らせなければならない。

#### 出 21:2～6 (口語訳)

21:2 あなたがヘブルびとである奴隷を買う時は、六年のあいだ仕えさせ、七年

ねばならないが、七年目には無償で自由の身となることができる。

21:3 もし、彼が独身で来た場合は、独身で去らねばならない。もし、彼が妻帯者であった場合は、その妻も共に去ることができる。

21:4 もし、主人が彼に妻を与えて、その妻が彼との間に息子あるいは娘を産んだ場合は、その妻と子供は主人に属し、彼は独身で去らねばならない。

21:5 もし、その奴隷が、「わたしは主人と妻子とを愛しており、自由の身になる意志はありません」と明言する場合は、

21:6 主人は彼を神のもとに連れて行く。入り口もしくは入り口の柱のところに連れて行き、彼の耳を錐で刺し通すならば、彼を生涯、奴隷とすることができる。

#### レビ 25:39～43 (新共同訳)

25:39 もし同胞が貧しく、あなたに身売したならば、その人をあなたの奴隷として働かせてはならない。

25:40 雇い人が滞在者として共に住まわせ、ヨベルの年まであなたのもとで働かせよ。

25:41 その時が来れば、その人もその子供も、あなたのもとを離れて、家族のもとに帰り、先祖伝来の所有地の返却を受けることができる。

25:42 エジプトの国からわたしが導き出した者は皆、わたしの奴隷である。彼らは奴隷として売られてはならない。

25:43 あなたは彼らを過酷に踏みしめてはならない。あなたの神を畏れなさい。

#### フィレ 16 (新共同訳)

16 その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとつてそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです。

#### 詩 34:23 (新共同訳)

34:23 主はその僕の魂を贖ってください。主を避けどころとする人は、罪に定められることがない。

目には無償で自由の身として去らせなければなりません。

21:3 彼がもし独身で来たならば、独身で去らなければならない。もし妻を持っていたならば、その妻は彼と共に去らなければならない。

21:4 もしその主人が彼に妻を与えて、彼に男の子また女の子を産んだならば、妻とその子供は主人のものとなり、彼は独身で去らなければならない。

21:5 奴隷がもし『わたしは、わたしの主人と、わたしの妻と子供を愛します。わたしは自由の身となって去ることを好みません』と明言するならば、

21:6 その主人は彼を神のもとに連れて行き、戸あるいは柱のところに連れて行って、主人は、きりで彼の耳を刺し通さなければならない。そうすれば彼はいつまでもこれに仕えるであろう。

#### レビ 25:39～43 (口語訳)

25:39 あなたの兄弟が落ちぶれて、あなたに身を売るときは、奴隷のように働かせてはならない。

25:40 彼を雇人のように、また旅びとのようにしてあなたの所におらせ、ヨベルの年まであなたの所で勤めさせなさい。

25:41 その時には、彼は子供たちと共にあなたの所から出て、その一族のもとに帰り、先祖の所有の地にもどるであろう。

25:42 彼らはエジプトの国からわたしが導き出したわたしのしもべであるから、身を売って奴隷となってはならない。

25:43 あなたは彼をきびしく使ってはならない。あなたの神を恐れなければならない。

#### ピレ 16 (口語訳)

16 しかも、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上のもの、愛する兄弟としてである。とりわけ、わたしにとってそうであるが、ましてあなたにとっては、肉においても、主にあっても、それ以上であろう。

#### 詩 34:22 (口語訳)

34:22 主はそのしもべらの命をあがなわれる。主に寄り頼む者はひとりだに罪に定められることはない。

ルカ 17:10 (新共同訳)  
17:10 あなたがたも同じことだ。自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしたちは取るに足りない僕です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。

1ペト 2:16 (新共同訳)  
2:16 自由な人として生活しなさい。しかし、その自由を、悪事を覆い隠す手だてとせず、神の僕として行動しなさい。

ルカ 17:10 (口語訳)  
17:10 同様にあなたがたも、命じられたことを皆してしまったとき、『わたしたちはふつつかな僕です。すべき事をしたに過ぎません』と言いなさい。

Iペテ 2:16 (口語訳)  
2:16 自由人にふさわしく行動しなさい。ただし、自由をば悪を行う口実として用いず、神の僕にふさわしく行動しなさい。

## 水曜日 3月18日 互いのために祈る

問4 コロサイ 4:2~4 を読んでください。この箇所には、祈りのどのような原則が見いだされますか。パウロは、どのような祈りの願いをしていますか。

家族、健康、金銭などの問題を抱え、苦しんでいる人にかけることのできる最も大切な言葉は、「あなたのために祈っていますよ」です。これは、天が選んだつながりと対話の手段です。「われわれがこのようにして求めなければ与えられないものが、信仰の祈りにこたえて、われわれに授けられることが、神のご計画の一部である」(『希望への光』1853 ページ、『各時代の争闘』第32章)。

パウロが用いている、次の祈りの印象的な表現に注目してください。「目を覚まして」「感謝を込め」「ひたすら」[口語訳「目をさまして」「感謝のうちに」「ひたすら」](コロ 4:2)。このような表現は、これが信仰の祈りであることを示しています。パウロは私たちに、「絶えず」(エフェ[エペ]6:18、Iテサ 5:17)祈るようにと教えています。最も驚くべきことは、「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる」[口語訳「わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さる」](ロマ 8:26)ということです。

問5 コロサイ 4:3 を読み直してください。あなたが信仰を伝えるために、神はどのような「御言葉のため(の)門」[口語訳「御言のため(の)門」]を開いてくださるのでしょうか。

意義深いことに、パウロも語るべき適切な言葉を祈り求めていました。彼の手紙や使徒言行録の説教を読むとき、私たちは、彼がいつも雄弁で、何を語るべきか決して迷わなかったように想像することがあります。しかし、ここでパウロは、メッセージを「はっきりと」(コロ 4:4、口語訳)宣べ伝えることができるように祈ってください

いと求めているのです。彼はまた、この節の中で、非常に重要なギリシア語(「デイ」)を用いています。これは、「私が語るべき語り方で」と訳すことができ、福音を宣べ伝える働きの聖なる必要性を指し示しています。彼は、皇帝の家の人々を含むローマ政府の最高レベルの人々にメッセージを伝えることの重要性を認識していたのです。

祈るのには、必ずしもひざまずかなくてもよいのである。1人でいるときも道を歩くときも、毎日の仕事に忙しいときも、救い主と語る習慣をつけなさい。助け、光、力、知識を求めて、絶えず心を沈黙のうちに天に向けなさい。そして、一つひとつの呼吸が、すべて祈りとなるべきである」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング』新装版 344 ページ)。

85

**コロ 4:2~4 (新共同訳)**

4:2 目を覚まして感謝を込め、ひたすら祈りなさい。

4:3 同時にわたしたちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、わたしたちがキリストの秘められた計画を語るができるように。このために、わたしは牢につながれています。

4:4 わたしがしかるべく語って、この計画を明らかにできるように祈ってください。

**エフェ 6:18 (新共同訳)**

6:18 どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。

**I テサ 5:17 (新共同訳)**

5:17 絶えず祈りなさい。

**ロマ 8:26 (新共同訳)**

8:26 同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。

**コロ 4:2~4 (口語訳)**

4:2 目をさまして、感謝のうちに祈り、ひたすら祈り続けなさい。

4:3 同時にわたしたちのためにも、神が御言のために門を開いて下さって、わたしたちがキリストの奥義を語れるように(わたしは、実は、そのために獄につながれているのである)。

4:4 また、わたしが語るべきことをはっきりと語れるように、祈ってほしい。

**エペ 6:18 (口語訳)**

6:18 絶えず祈りと願いをし、どんな時でも御霊によって祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい。

**I テサ 5:17 (口語訳)**

5:17 絶えず祈りなさい。

**ロマ 8:26 (口語訳)**

8:26 御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みづから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。

**木曜日 3月19日 賢くふるまう【口語訳:賢く行動する(コロ4:5 参照)】**

私たちクリスチャンが知りうる最も重要な真理とは、何でしょうか。言うまでもなく、それは、イエス・キリストが私たちの罪のために死んでくださり、彼を信じること

によって、私たちが永遠の命を得られるということです。これは、私たちが独力で決して理解しえなかった真理です。むしろ、それは私たちに告げられ、明らかにされなければならなかった真理でした。そしてその真理は、神の御言葉の中で、私たちに明らかにされました。

神が御言葉の中で私たちに明らかにしてくださらなければ、私たちが決して知ることのなかった真理、知識、知恵がたくさんあります。しかし、この知識や知恵は、単なる知識として、つまり単に知るべきものとして私たちに与えられたものではありません。むしろ、私たちはこの真理、知識、知恵を自分の人生で実践する必要があります。

**問6** コロサイ 4:5、6 を読んでください。パウロは、どのような状況において、特に「賢くふるま(う)」【口語訳「賢く行動(する)」】必要があると指摘していますか。それはなぜでしょうか。

残念ながら、私たちクリスチャンは、時としてクリスチャンとは程遠いことがあります。そして、パウロが指摘したように(イザ 52:5 の引用)、イスラエルもまた、不信心な者たちにとってつまずきの石でした——「あなたたちのせいで、神の名は異邦人の中で汚されている」【口語訳「神の御名は、あなたがたのゆえに、異邦人の間で汚されている」】(ロマ 2:24)。私たちが他者に対して、特に同じ信仰を持たない人に対していかに行動するかは、とても重要です(テト 2:5、Ⅱペト【ペテ】2:2 参照)。クリスチャンの家庭、祈りのための若者の集まり、さりげない親切な行為、穏やかで忍耐強い精神は、私たちの告白が本物かどうかを見守っている人たちに多くのことを語ります。

コロサイ 4:6 でパウロは、特に私たちが語る言葉に焦点を合わせています。「いつも……快い言葉で語りなさい」【口語訳「いつも……やさしい言葉を使いなさい」】。単に親切で礼儀正しいだけでなく、私たちが語る言葉は、聖霊の影響を通して神の恵みによって促され、あふれているべきです。「塩で味付けされた」【口語訳「塩で味つけられた」】とは、「塩辛い(辛辣な)」言葉という世間の定義とは反対に、私たちの言葉は、語りかける相手にふさわしく、好ましくなければならないということです。

「そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう」【口語訳「そうすれば、ひとりひとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう」(コロ4:6)】。聖霊だけが、正しい目的のために、正しい時に正しい言葉を与え、私たちが伝える「べき」メッセージのために、聞き手の心を備えてくださいます(ここでも「デイ」が使われている。昨日のコロ 4:4 の解説参照)。

**【参考】英語テキストにある文**

**Think about your words, your actions, and how you walk before others. What message are you sending about your faith and what it means to be a Christian?**

自分の言葉や行い、人前でどう振る舞うか(行動するか)について考えてみてください。あなたは信仰について、またクリスチャンであることの意味について、どんなメッセージを伝えようとしていますか。

86

**コロ 4:5、6 (新共同訳)**

4:5 時をよく用い、外部の人に対して賢くふるまいなさい。

4:6 いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。

**イザ 52:5 (新共同訳)**

52:5 そして今、ここで起こっていることは何か、と主は言われる。わたしの民はただ同然で奪い去られ、支配者たちはわめき、わたしの名は常に、そして絶え間なく侮られている、と主は言われる。

**ロマ 2:24 (新共同訳)**

2:24 「あなたたちのせいで、神の名は異邦人の中で汚されている」と書いてあるとおりです。

**テト 2:5 (新共同訳)**

2:5 分別があり、貞潔で、家事にいそしみ、善良で、夫に従うようにさせることができます。これは、神の言葉が汚されないためです。

**Ⅱペト 2:2 (新共同訳)**

2:2 しかも、多くの人が彼らのみだらな楽しみを見做っています。彼らのために真理の道はそしられるのです。

**コロ 4:4 (新共同訳)**

4:4 わたしがしかるべく語って、この計画を明らかにできるように祈ってください。

**コロ 4:5、6 (口語訳)**

4:5 今の時を生かして用い、そとの人に対して賢く行動しなさい。

4:6 いつも、塩で味付けられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりびとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。

**イザ 52:5 (口語訳)**

52:5 それゆえ、今わたしはここに何をしようか。わが民はゆえなく捕われた」と主は言われる。主は言われる、「彼らをつかさどる者はわめき、わが名は常にひねもす侮られる。

**ロマ 2:24 (口語訳)**

2:24 聖書に書いてあるとおり、「神の御名は、あなたがたのゆえに、異邦人の間で汚されている」。

**テト 2:5 (口語訳)**

2:5 慎み深く、純潔で、家事に努め、善良で、自分の夫に従順であるように教えることになり、したがって、神の言がそしりを受けないようになるであろう。

**Ⅱペテ 2:2 (口語訳)**

2:2 また、大ぜいの人が彼らの放縱を見習い、そのために、真理の道がそしりを受けるに至るのである。

**コロ 4:4 (口語訳)**

4:4 また、わたしが語るべきことをはっきりと語れるように、祈ってほしい。

金曜日 3月20日 さらなる研究

「家族の者はみな、家庭の秩序と規則正しさと居心地のよさを増すために、自分に与えられた役割を果たす責任があることを認めなければならない。互いに逆らい合いながら働いてはならない。だれでもみな、一致して互いに励まし合うという、良いわざを行わなければならない。彼らは温和、寛大、忍耐の心を働かさなけ

ればならない。低い、落ちついた声で話し、混乱を避けなさい。母親の重荷を軽くするために最善を尽くしなさい。……

家族のメンバーは1人ひとり、彼らが他の者と協力してするように期待されている役目を理解しなければならぬ。6歳以上の子どもはみな、彼らが生活の重荷を分担するように要求されていることを知らなければならぬ」(『希望への光——クリスチャン生活編』673 ページ、『アドベンチスト ホーム』第27章)。

「光の中を歩もうとするなら、キリストを心と家庭に迎え入れなければならぬ。家庭は、その言葉が意味するとおりのものにする必要がある。それは地上の小さな天国、すなわち愛情が故意に抑圧されるのではなく、育まれる場所であるべきだ。私たちの幸福は、愛、共感、そして互いへの真の礼儀正しさを育むことにかかっている。……私たちは自分を忘れ、小さなことでも、他者から受けた好意に感謝する機会を常に探し、優しい親切や小さな愛の行為によって他者を元気づけ、彼らの悲しみや重荷を軽くして和らげる機会を探すべきである。このような思いやりのある礼儀正しさは、家族の中で始まり、家族の輪の外にまで広がっていくものであり、人生の幸福を形作るのに貢献する。そして、これらの小さなことを怠ると、人生の苦しみや悲しみを招くことになるのである」(『教会への証』第3巻 539、540 ページ、英文)。

【参考】—— Ellen G. White, *Testimonies for the Church*, vol. 3, pp. 539, 540.

“We must let Christ into our hearts and homes if we would walk in the light. Home should be made all that the word implies. It should be a little heaven upon earth, a place where the affections are cultivated instead of being studiously repressed. Our happiness depends upon this cultivation of love, sympathy, and true courtesy to one another. . . . We should be self-forgetful, ever looking out for opportunities, even in little things, to show gratitude for the favors we have received of others, and watching for opportunities to cheer others and lighten and relieve their sorrows and burdens by acts of tender kindness and little deeds of love. These thoughtful courtesies, that, commencing in our families, extend outside the family circle, help make up the sum of life’s happiness; and the neglect of these little things makes up the sum of life’s bitterness and sorrow.”

### 話し合いのための質問

- ① 結婚した夫婦にとって、どのような原則が二人の関係を支える助けとなるでしょうか。未婚の人たちは、結婚に付きものである試練にどう備えるべきでしょうか。
- ② すばらしいクリスチャン家庭で子どもを育てた、愛情深く思いやりのある多くの両親が、成人した子どもが信仰を拒むことに直面することがよくあります。あなたは彼らに、どのような助言や慰めを与えることができますか。また、言わないほうがよいことは、何でしょうか。

- ③ 「賢くふるまいなさい」〔口語訳「賢く行動しなさい」(コロ4:5)〕という勧めについて、さらに話し合ってください。それとは対照的に、「愚かに」ふるまう(行動する)とは、どういうことでしょうか。あなたは、いずれか、あるいは両方のふるまい(行動)をしたことがあるかもしれません。そのとき、どのようなことを学びましたか。

コロ4:5 (新共同訳)

4:5 時をよく用い、外部の人に対して賢くふるまいなさい。

コロ4:5 (口語訳)

4:5 今の時を生かして用い、その人に対して賢く行動しなさい。